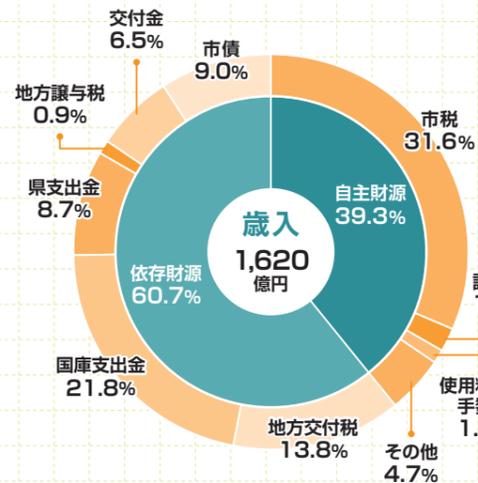
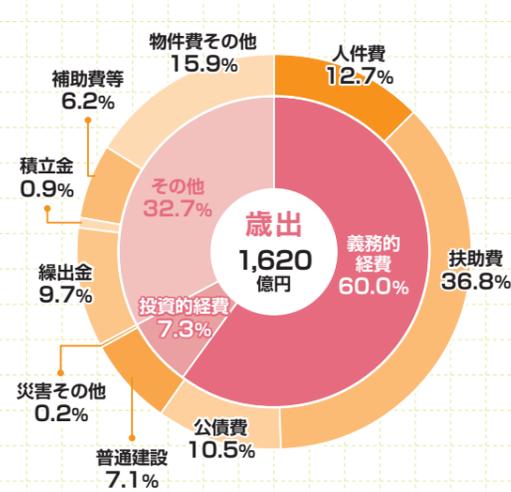


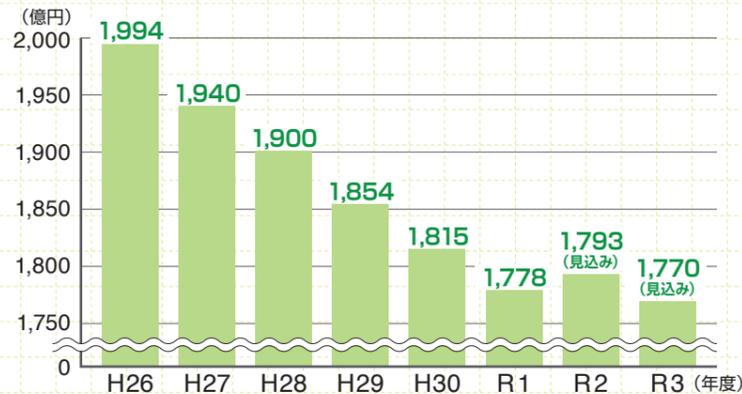
令和3年度 一般会計当初予算 1,620億円



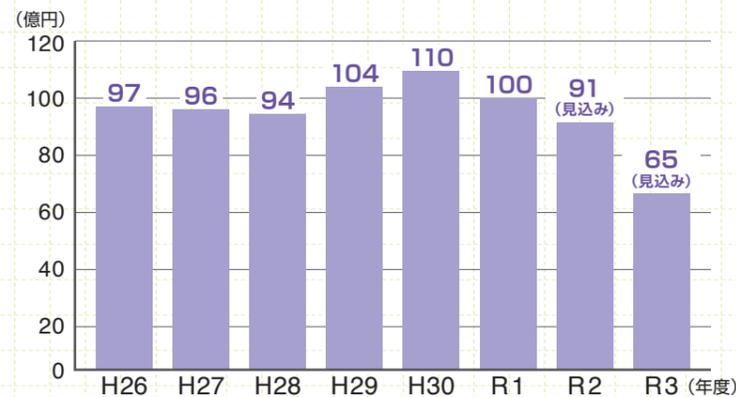
令和3年度 一般会計当初予算
歳入・歳出の内訳



市債残高の推移 (普通会計ベース) (H26~R3)



財政調整基金の残高推移 (H26~R3)



引き続き、財政の健全化を進めます

歳入の内訳は、約4割が市税などの自主財源で、約6割が国・県からの支出金(補助金)や市債(借金)などの依存財源です。歳出では、少子高齢化の進展などにより扶助費が増加傾向ですが、一方で、未来を担う子どもや孫たちの世代に大きな負担を

掛けないように、市債残高の圧縮や貯金である財政調整基金の確保に努めています。引き続き、「将来を見据えた、持続可能な財政運営」を目指し、健全財政に取り組んでいきます。



5 使いみち 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市

インフラの長寿命化を図り、公共施設の最適な配置の実現に向けて取り組むとともに、地域の特性に即したコンパクトなまちづくりと、これと連携した交通体系を構築し、地域におけるネットワークを形成することで、高次の都市機能が維持されているまちを目指します。



コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」

新庁舎建設に係る基本構想策定事業

予算 3,550万円

市役所新庁舎の建設に向けて、基本理念や新庁舎に求められる機能等を網羅した基本構想を策定するとともに、建設場所や規模等を整理します。



コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」

高松橋改修事業 (長寿命化対策)

予算 2億350万円

橋梁の安全性の確保や、維持管理に係るトータルコストの削減を図るため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高松橋の耐震性能の向上を含めた大規模な改修工事を実施します。



質の高い教育をみんなに

1人1台端末の環境が未来の生きる力を育む

P6でご紹介した「GIGAスクール」とは、学校ですべての児童・生徒に1人1台の端末を整備し、これからの時代を生き抜く力を育むことを目的とした教育の形です。GIGAとは、Global and Innovation Gateway for Allの略で「全員がグローバル(世界的・国際的)とイノベーション(技術革新)の扉を開ける」ことを目指します。宮崎市では今年7月に全小中学校で端末が運用できるよう準備を進めています。



算数の図形の授業もタブレット端末で。



持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals = SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

宮崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています